

第2次日野市立図書館基本計画(素案)に対するパブリックコメントの結果報告

平成25年(2013年)3月15日

①パブリックコメントの実施概要

- 意見募集期間:平成25年1月15日～1月31日
- 意見募集方法:「広報ひの」1月15日号での告知
図書館ホームページへの素案の掲載
七生支所・豊田駅連絡所での素案の閲覧
市立図書館(7館)での素案の閲覧・貸出
- 意見受付方法:郵送、持参、FAX、電子メール
- ご意見提出者数:13名 意見数:40件

②パブリックコメント意見の概要及び市の回答

(※ 意見の「1-A」は、No.1の方の1つ目のご意見という意味です。)

なお、計画のレイアウトを変更したため、素案と計画のページ数が異なります。

(1)「序章 はじめに 1. 日野市立図書館のあゆみと活動」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
1	11-A	1	日野市立図書館が行ってきた、読書案内(それに続く予約サービス)、児童サービス、レファレンスサービスなどの重要な視点が見落とされているので、きちんと位置づけをして書き込んでほしい。 →3行目「市民へ図書を」を「市民への読書案内をしながら図書を」へ修正。 →7行目「記録しました。」のあとへ「それは、日野市立図書館が活動の中で、読書欲旺盛な子どもや、子どもの読書に関心の高い大人(親など)の要望に応じて、児童図書館サービスを重視して取り組んだ結果でもありました。」の一文を加える。 →10行目「それ以降も、昭和48年(1973年)に視覚障害者へ」の箇所を「それ以降も、昭和48年(1973年)中央図書館設置とともに資料・情報サービスの両輪をなす貸出サービスとレファレンスサービスへの本格的な取り組みや、視覚障害者へ」と加筆する。	「序章 はじめに」においては、日野市立図書館の主なあゆみについて、なるべく簡潔に記述しています。 3行目については、必ずしも全ての場合で読書案内を行ったわけではないのでこのままにします。 7行目については、ご意見を踏まえ、「それは、日野市立図書館が児童サービスを重視して取り組んだ結果でもありました。」を加えます。 10行目については、ご意見を踏まえ、加筆します。
2	12-A	1	日野市の図書館の歴史のなかで、「ひまわり号」による図書館活動が歴史の第一歩との記載があるが、これ以前に八王子にあった都立図書館の「むらさき号」による巡回が日野市内にもあり、利用していたことがある。歴史を記載する場合は、そのこと以前のことでも記載すべきで、そういう下地のもとに歴史が始まったとするのがよいのではないかと。	「序章 はじめに」においては、日野市立図書館の主なあゆみについて、なるべく簡潔に記述しています。ここでは、日野市が行ってきた図書館活動の歴史を記載しています。
3	12-B		図書館ができる以前に、図書館に類するようなものは市内になかったのか。「貸本屋」が近所にあり、よく利用していた。	

(2) 「第2章 日野市立図書館の現状と課題 (1-1)日野市立図書館の現状」 についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
4	7-A	6,10	「市内全域でのサービスを行っている」ように書かれているが、市内のどこに住んでいても本当に身近に行ける場所に図書館を設置してほしい。根本的な図書館サービス網の見直しが必要ではないか。	日野市の財政状況の中で、現時点において新図書館の建設を計画することはたいへん難しい状況にありますが、将来的な課題として検討していきます。また、現在ある7つの図書館機能の充実を図っていきます。
5	1-A	7	表の見出しが「施設概要」とあるが、「施設概要及び利用状況」とする方がわかりやすい。	ご指摘を受け、表の見出しを「日野市立図書館 概要」と修正します。 また、施設や利用状況についての統計データを資料編に追加します。
6	4-A	7	計画の目的に「これまでの図書館事業を振り返り、総括すること」とあるが、定性的な表現がほとんどで、定量分析が不足している。8ページ(素案)の施設概要をもっと細かいデータが必要ではないか。	
7	11-B	7	8ページ(素案)の表の見出しと内容について、見出しは「各施設とサービス結果」に変更し、内容にサービス結果として、貸出冊数・点数・登録者数と共に、予約・リクエスト数、レファレンスサービス件数、講演会やお話会等への参加者数を書きこんでほしい。これらによる評価があつて、課題が見えてくるものである。	

(3) 「第2章 日野市立図書館の現状と課題 (1-2)日野市立図書館の課題」 についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
8	1-B	7~8	課題について、項目のみで説明がないため、具体的に何が課題となっているのかわからない。また、誰がどのように考えたのかがあるとわかりやすい。	課題の内容は、p.10以降の「第4章 計画の内容」においてふれていますが、ご指摘を踏まえ、課題抽出の視点を明らかにし、また、章立てを変更します。
9	2	7	「老朽化した施設の改修」と課題に挙がっているが、項目のみの記載で、具体的な計画がない(特に高幡図書館の雨漏りについて)。	課題についての具体的な計画は、p.23「第4章 計画の内容 7(1)」にありますが、図書館の施設改修計画に基づき改善していきます。この旨をわかりやすく記載します。

10	11-C	8	「③サービス提供体制の課題」の1行目に次の文を加えてほしい。「すべての市民・住民が図書館を利用できるように最低限の環境を整えるために、少なくとも1世帯のうち1人が利用できるようにし、登録率を49.9%に引き上げる。」現在の登録率20.6%は低すぎ、登録率をあげるために、図書館の新設が必要である。また、年間出版点数8万点の5～6割以上の冊数を購入できる資料費を確保することが必要と考える。	日野市の財政状況の中で、現時点において新図書館の建設を計画することはたいへん難しい状況にあります。将来的な課題として検討していきます。誰でも身近に図書館を利用できる図書館機能の充実や資料費の確保等に取り組むことによって、ご指摘の登録率の上昇等に結び付けていきたいと考えています。
----	------	---	--	---

(4) 「第2章 日野市立図書館の現状と課題 (2)市民の求める図書館」 についてのご意見

連番	意見	計画のページ数	意見(概要)	回答
11	1-C	8	「市民の求める図書館」は、アンケート等の調査からの意見なのか。この項目の出典が分かる記載が必要では。	来館者アンケートと策定委員会の市民委員からの意見を基にしたものです。ご指摘のように、それが分かるように記載します。
12	5-E	8	「高齢社会に伴い、ユニバーサルで潤いのある環境を備えたもの」という表現がわかりにくい。	ご指摘の通り、「高齢社会に伴い、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考えに基づいた潤いのある環境を備えたもの」に表記を変更します。「潤い」という表現については、市民からのご意見を活かしたものであり、このままとします。なお、意味としては「落ち着いた、やすらぎを感じる雰囲気」と捉えています。
13	6	8	2番目の「潤いのある環境」と8番目の「潤い」という部分が抽象的でわかりにくい。具体的に言い換えた方がよい。	
14	11-D	8	15行目の「レファレンス」はわかりにくい。もっと丁寧に書いた方がよい。例えば「レファレンスサービス(資料・情報についての質問・相談)が受けやすく、情報検索が…」とする。	p.17に注釈を付けてありますが、それが分かるよう、こちらにも記載します。

(5) 「第3章 基本理念と基本方針」 についてのご意見

連番	意見	計画のページ数	意見(概要)	回答
15	8-A	9	「第3章 基本理念と基本方針」について3つの「よりどころ」はまさに公立図書館の使命と思う。この3つの「よりどころ」を具現化するための活動内容とその展開方法をどうするかが課題ではないか。	基本理念に基づいて基本方針を立てました。基本方針をどう具現化するかを「第4章 計画の内容」に記載しています。
16	8-B	9	基本方針の(3)と(5)について図書館が単なる余暇施設ではなく、市民の暮らし、毎日の生活に直接役立つ施設であること、また特に「調べる」「学べる」場が図書館なのだという図書館の本質を具体的に示していくことが肝要で、図書館に対する正しい認識を得るために重要な項目である。	具体的な取組を「第4章 計画の内容」3と5に記載しています。日野市としても重要と考え、取り組んでいきます。

17	8-C	9	基本方針の(4)と(6)について 日野市立図書館ならではの基本方針である。他の市立図書館とは違う日野市民のための図書館の活動として特に重点を置くべき項目である。各種活動だけでなく、館内も「日野市の図書館」と印象付けられる図書館づくりが必要である。	具体的な取組を「第4章 計画の内容」4と6に記載しています。 日野市の図書館は基本方針で掲げた6つの「図書館の基本」をこれからも大切に考えて活動していきます。
----	-----	---	--	--

(6) 「第4章 計画の内容」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
18	1-E	13～	「重点的な取組項目の進行表」は、この基本計画の最も重要な部分である。より目立つように見出しや項目を設ける等の工夫が必要。また、「進行表」と前段での説明文等の項目名が一致していないものがあるので、一致していた方がわかりやすい。	ご指摘の通り、表をわかりやすく修正します。 また、進行表と説明文の項目を一致させるよう修正します。 さらに、2(2)の施策について進行表から落ちていたので追加します。

(7) 「第4章 計画の内容 (1-1)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
19	7-B	6、10 21	「未利用者の開拓」についても、現在の図書館サービス網を前提としているが、図書館サービス網の見直しと検討が必要ではないのか。	日野市の財政状況の中で、現時点において新図書館の建設を計画することはたいへん難しい状況にありますが、将来的な課題として検討していきます。また、現在ある7つの図書館機能の充実を図っていきます。

(8) 「第4章 計画の内容 (1-3)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
20	5-D	11	障害者サービスについて、「障害」の表記は、「障がい」あるいは「しょうがい」とした方がよいのではないかと。 また、「聴覚障がい」についてもひとこと触れてほしい。	すべての人が図書館を自由に利用できないということは、図書館側の施設やサービス提供の方法に問題があると考えています。見出しは「図書館を利用しにくい人々へのサービス」とします。本文にも図書館側に問題があることを書き加え、一部修正します。 「障害」の表記については、いろいろな考えがあることは承知していますが、日野市では現在のところ「障害」と表記しています。 また、聴覚障害のある方に対して、次のような一文を追加します。「聴覚障害のある方に対しては、窓口で筆談器を設置するなどの環境を整備するとともに、それぞれのケースに応じた支援を行います。」

21	7-C	11	図書館利用に障害のある人々へのサービスに「図書館資料の宅配」とあるが、これは病院など長期入院患者やこどもたちも含まれているのか。具体的に明記してほしい。	ひまわり号が団体貸出で巡回している病院もあります。また、病院によっては感染症の予防等の事情から、リサイクル図書を提供しています。 子どもたちの利用については「第2次日野市子ども読書活動推進計画」p.25で例として「外出が困難な子どもへ図書の宅配をします」と述べていますので、検討事項に入れています。
----	-----	----	--	--

(9) 「第4章 計画の内容 (1-4)」 についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
22	1-D	4 or 12	「子ども読書活動推進計画」と「図書館基本計画」との関連等についての文章があると、分かりやすい。	p.4に図示していますが、「第2次図書館基本計画」の子どもへのサービスの部分は、「第2次日野市子ども読書活動推進計画」の図書館の施策部分と重なります。また、2つの計画は並列の関係にあります。p.12にもわかりやすいように記載します。
23	7-D	12	「第2次日野市子ども読書活動推進計画」についての項目の中に、「子どものためのおはなし会の実施と充実」を入れてほしい。現在おはなし会をしていない分館もあり、不公平感がある。どの館でも最低週1回のおはなし会をすべきと考える。	「第2次日野市子ども読書活動推進計画」は平成26年度までの計画で既に策定が完了しています。第3次子ども読書活動推進計画策定の際にいただいたご意見を参考に検討します。 おはなし会は、子どもが集まるスペースが必要なので、行っていない分館があります。それらについては、子ども読書の日や夏休み等に近隣の施設を借りておはなし会を実施しています。
24	11-E	12	「第2次子ども読書活動推進計画」についての文章について、図書館で専門的な知識を持った児童図書館員が子どもたちを本の世界へ誘うことが子どもたちを自然に本に近づける有効な方法であると考え。次の一文を加えてほしい。「また、図書館が本来取り組むべき、子どもを本の世界へ誘うための、わらべうた、読みきかせ、お話(ストーリーテリング)、ブックトーク(本の紹介)などに重点をおいて取り組みます。おはなし会を中央図書館を含む7つの図書館のすべてで行います。」	
25	13	12	「4 子どもが本に親しむ機会の創出・拡大」の中に「リサイクル本の学校への寄贈」を入れてほしい。	現在も実施していますが、今後も継続して取り組みます。

(10)「第4章 計画の内容 (2-2)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
26	3	14	市内各図書館にて、パソコンの電源使用を可能としてほしい。	現在、市政図書室を除いた各図書館で、パソコンの電源使用は可能となっていますが、今後も拡充できるように環境を整備していきます。 また、図書館の資料を利用してパソコンを使用するために、椅子に座って利用する環境を整えていきたいと考えています。
27	4-D	14	持ち込みパソコンの利用ができる環境の整備を進めてほしい。すべて立ち席とすれば、スペース節約と特定の人の特長時間専用も避けられるのでは。	

(11)「第4章 計画の内容 (2-4)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
28	5-A	15	資料の保存について、公文書館機能の充実とあわせ、共同保存書庫や共同保存システムを実現させてほしい。	多摩地域で、共同保存書庫や共同保存システムの実現に向けて連携し、検討していきます。

(12)「第4章 計画の内容 (3-1)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
29	7-E	17	適切な読書案内やレファレンスサービスを行える職員の育成」は重要な項目だと思う。特に、子どものための訓練を受けた児童図書館員を各図書館に配置することを希望する。	図書館内での研修の実施だけでなく、東京都立図書館主催の各種研修など、外部研修にも積極的に職員を参加させるなど、今後も職員の専門性を高めるよう努めていきます。 また、図書館内では各館から1名以上の職員で構成する児童奉仕グループを設置しています。そこで、子どもへの読書サービスの研究・研修を行い、職員のスキルアップを図っています。
30	9-C	17	「適切な読書案内やレファレンスサービスを行える職員の育成」は利用者にとって大事なことなので、ぜひ進めてほしい。	

(13)「第4章 計画の内容 (4-2)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
31	10-A	19	手狭になった市政図書室の拡張計画を切望する。	課題として充分認識はしていますが、市役所本庁舎の建ぺい率により、これ以上拡張ができないのが現状です。今後も引き続き検討していきます。

32	5-C	19	市刊行物の納本制度については、第一次計画にもあった。実現が難しかったとすれば、どこが問題だったのか検討した上でぜひ実現させてほしい。	第2次図書館基本計画内に実現をめざします。
33	10-B	19	公文書館機能の整備について、日野市の公文書の保存年限は、実情に合っていない。全面的可及的速やかに改正する必要がある。また、現行の保存年限のほかに「時効」も考慮すること。	公文書の保存年限については、主管部署に申し伝えます。 また、「時効」については、日野市文書管理規則の第55条の2に規定されています。

(14) 「第4章 計画の内容 (6-2)」 についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
34	8-D	22	「第4章 計画の内容」について、市民自らが育てる図書館づくりが理想だと思う。たくさんの市民が直接間接に「図書館デビュー」できるような活動・企画を考えてほしい。例えば、①各種「作品展示」 ②各種「教養講座」の企画など。なお、これらの企画運営は「委員会組織」によって実施してもらおうとよい。市民の「図書館デビュー」は、よき図書館利用者を増やす機会にもなる。	学校等他の機関とも連携を図り、今後の活動の参考にさせていただきます。
35	9-A	22	図書館が「新たな知縁」を生み出す場となるように、「図書館を支える市民の自主的な活動としての『図書館友の会』のような組織づくり」をぜひ実行してほしい。	ご指摘のように進めていきたいと考えています。

(15) 「第4章 計画の内容 (7-1)」 についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
36	5-B	24	職員の育成について、前提条件として、司書の採用・配置を考えてほしい。長期的視点に立った専門職員の配置を継続して行うべき。	職員の採用・配置については、市全体の職員配置計画に基づいて行っています。司書資格者またはそれに準ずる専門的知見を持った職員の配置を長期的視点に立って考えていくとともに、現職員の育成にも努めます。

(16) 「第4章 計画の内容 (7-2)」についてのご意見

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
37	9-B	25	実践女子大学図書館・実践女子短期大学図書館だけでなく、中央大学や帝京大学などの図書館とも連携を進めてほしい。	今後も近隣の大学図書館との連携を積極的に進めていきたいと考え、p.25に「近隣の大学図書館との連携を検討します。」としています。 なお、中央大学図書館は、この4月から日野、多摩、八王子市民の館内利用が可能になります。帝京大学図書館は、登録料を払うと館外貸出もできるカードが作れます。 このような情報を広く周知していくよう努めます。

(17) その他

連番	意見	計画の ページ数	意見(概要)	回答
38	4-B		多摩平図書館は、施設・サービスも素晴らしいが、月曜日も開館していればもっと便利である。年中無休体制を検討してほしい。	施設の開館には人件費だけでなく、管理費(光熱水費など)が必要です。多摩平図書館だけでなく図書館全体として費用対効果等を考え、今後の検討課題とします。
39	4-C		自動貸出機を導入することで、人件費を削減できないだろうか。	自動貸出機を導入する場合、ICタグの利用が考えられます。ICタグの耐久性などの課題を他の自治体での運用状況を確認しながら、今後の課題としていきます。
40	4-E		中学校の教育・施設との連携・協同はできないか。学校図書室やPC施設の一部を図書館に集約するなど考えられないか。	学校図書館やパソコン教室は、学校の児童・生徒のための教育目的の施設・設備であるので、学校内に必要であると考えます。